



安城市議会議員 石川つばさ通信 NO32

市政レポート

大西公園

リニューアル着々



2018年11月上旬よりリニューアル工事が進められている大西公園(住吉町)に関し、12月の議会答弁で市は、「信号機や踏切など既設構造物を撤去しているが、大きな問題もなく、工期内(工期は2019年3月15日迄)に完了できると見込んでいる。」との認識を示しました。

1月中旬以降は敷地造成や新たな遊具の設置など、工事が本格化

する見込みです。それに伴い、騒音や振動、工事車両の増加も想定されます。市は、こうした影響を最小限にし、安全第一で進めたいとしています。

市内には築40年以上の老朽化した公園が他にも多数存在し、今後は毎年1園ずつリニューアルしていく方針です。来年度は、朝日公園(相生町)の工事が予定されています。

※デンパーク ウィンターフェスティバル※

今シーズンもデンパークで「ウィンターフェスティバル」が開催されたので、現地に赴きました。一時、雪のチラつく寒い日でしたが、多く



「水のステージ」のイルミネーション

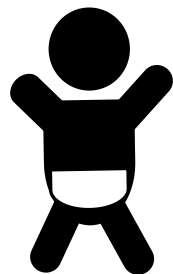
の来場者で賑わっていました。50万球の電球で彩られたイルミネーションは圧巻です。機会があれば是非、足をお運び下さい。

おむつ持ち帰り問題 「今後、調査研究。」

安城市の公立幼稚園・保育園では、園内で出た使用済のおむつを保護者に持ち帰っていただき、各ご家庭で処分していただく対応をとっています。園で処分しない理由として、「保護者に子どもの体調を把握していただくため」としています。

増える園での処分

しかし近年、帰りにスーパーに寄る場合などに、使用済のおむつを持ち歩くことについて抵抗を感じるとの意見が増え始めています。東京23区では9つの区が持ち帰りをやめ、園での処分に切り替えています。また、愛知県内の特別支援学校ではこれまで、一部の学校でおむつの持ち帰りが行われてきましたが、今後は学校での処分を全校で実施する方針が示されました。



感染症予防

厚生労働省のHPには、排泄物はノロウイルスの感染源となり、処理には注意が必要であると記されています。また、国立国際医療研究センターの堀成美さんは、「衛生管理の基本は汚物をすぐ捨てること。感染リスクを増やすので、持ち帰りは見直すべきだ」としています。

これらを踏まえて市は、「今後、衛生面、費用負担のあり方など総合的な観点から、調査研究していきたい」としています。

費用は問題ない

現状、持ち帰られたおむつは可燃ごみとして廃棄されているはずですが、市はごみ袋を販売していますが、売上は袋の製作費に充てられ、ごみの処分自体は税金で行っています。つまり、園でおむつを処分しても市の負担が増えるわけではありません。こうしたことも踏まえ、早期に園での処分に切り替えるべきと考えます。

2016年3月議会で、丸三金属(安城市浜屋町)が税不正を行っているとして私が指摘したことに対し、同社が「名誉を棄損された」として起こした裁判が終結しました。

控訴取り下げにより、

- ①税不正は実際に行われていた
- ②税不正は経理担当が行ったことで、会社は関与していなかった
- ③外国人技能実習生に対する賃金不正も行われていた
- ④賃金不正は会社も認識していた

などを柱とした一審判決が確定しました。

表1

丸三金属の請求	確定判決
損害賠償1000万円+利息	損害賠償30万円+利息
新聞に謝罪広告・ブログで謝罪	謝罪は不要
訴訟費用は石川が負担	1/30を石川負担、29/30を丸三金属負担

丸三金属裁判 終結

これにより、「会社が税不正を行っている」という私の主張は事実と反するとして、表1の判決が固まりました。

経理担当が一人で税不正を行ったとする点については腑に落ちませんが、外国人技能実習生に対する賃金不正が行われていたことや、賃金不正については会社も認識していたことなどが認定された点については概ね評価できます。

本件は市議会での発言に端を発した公的な問題で、私には市民に対する説明責任があります。紙面の都合上、ここでは概要のみを掲載しましたが、詳細は、近日中にブログに掲載予定です。関心のある方はそちらをご覧ください。

ふつうに働いて

PART22

ふつうに生活する

10月下旬に、まちづくり特別委員会で香川県高松市の高松丸亀商店街を視察しました。かつて栄えた商店街が時代とともに廃れ、その再生を民間主導で行ったというのが概要です。

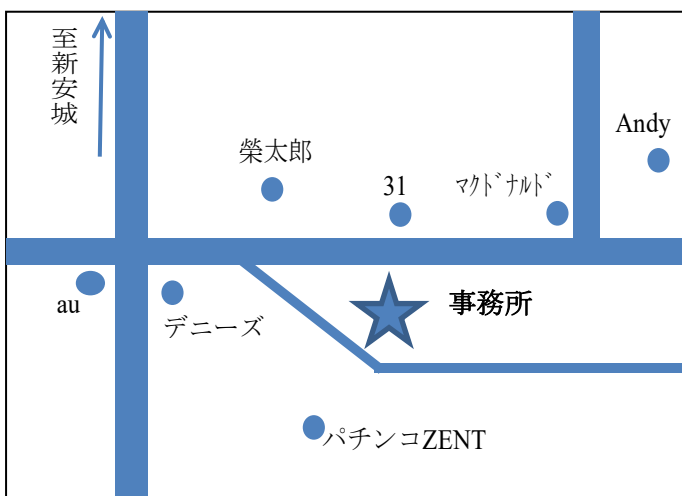
視察の詳細については割愛しますが、印象的だったのが、瀬戸大橋開通が商店街衰退の要因になったという点です。橋の開通で経済が潤うと期待していたら、それまで船での輸送コストを嫌って四国進出を避けてきた本州の大型ショッピングセンターがなだれ込み、商店街を駆逐してしまったと言うのは何とも皮肉な結果です。独立した経済圏がよ

瀬戸大橋 ・ リニア ・ TPP

り大きな経済圏と一体になると何が起きるかを端的に示しています。

この話を聞いて頭に浮かんだのが、リニアによる愛知への影響です。リニア開通で経済活性化を期待する声はあるものの、愛知で四国の再現が起きないとも限りません。また、2018年末発効のTPPは、リニア以上に強い影響を及ぼす可能性があります。

無論、総合的に見たとき、「だから瀬戸大橋を造るべきではなかった」とはならないでしょう。しかし、リニアやTPPはどうか？極めて強い懸念を抱かざるを得ません。



石川つばさ事務所

安城市住吉町荒曾根 1-245 アラズビル2F 南
電話 0566-98-6932
FAX 0566-98-6931
メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

当事務所では職場・家庭の問題や法律の相談も行なっております。お気軽にご相談ください。